



KCC 片倉コープアグリ株式会社

2022年度 事業取り組み紹介

2023年 5月23日

社会課題への対応

SDGsにおいて、農業分野は食料供給、環境保持、雇用の創出など生物圏・社会・経済のすべてに深く影響を与えており、SDGsの達成に農業の発展は必要不可欠と言えます。

片倉コープアグリは、100年の歴史で培った技術力と製品開発力により、農業の発展へ貢献し続けることでSDGsの実現を支援していきます。



社会課題の達成へ貢献



中期経営計画で掲げた事業戦略

肥料事業



◆ 持続可能な農業の実現に向けた当社製品と技術の展開

- ✓ 気象変動の大きい環境下でも安定した生産性を確保する新たな水稻施肥技術として取り組みを開始した、デモ用田植機の活用によるペースト肥料拡販プロジェクトの全国展開
- ✓ 灌漑水と同時に施用でき、従来は困難だった田植後でも基肥としても利用できる流し込み液肥等、施肥労力を軽減する水稻の全量液肥栽培体系の展開
- ✓ 肥料法改正を踏まえた新たな環境循環型農業への取り組みとして、堆肥を活用した地産地消型肥料の展開



◆ 生産・管理業務効率化による価格競争力の強化

- ✓ 工場特性に合わせた全国ベースでの既存品目の生産最適工場への集約・見直し
- ✓ 管理業務集約による業務効率化と最適人員化



化学品事業



◆ 化学品事業の国内外フィールドへ向けた販売強化

- ✓ 化粧品原料では、HALAL認証を活かした東南アジアへの化粧品原料の拡販、天然物由来の素材を醗酵させた高機能化粧品原料の開発・販売
- ✓ 無機素材では、独自機能性を活かした合成雲母のEU域内向け拡販、新規顧客のニーズに対応する製品の開発・販売
- ✓ 化成品では、従来からの流通ノウハウや配送拠点を活かしたリン酸、硫酸等の新規顧客の開拓



肥料事業

持続可能な農業の実現に向けた
当社製品と技術の展開

ペースト二段施肥技術の展開



デモ用田植え機の活用によるペースト肥料拡販プロジェクトの全国展開

片倉コープアグリは「2030年にはプラスチックを使用した被覆肥料に頼らない農業に。」を理想に掲げ、プラスチック被膜殻が発生せず水稲生産者の省力・軽労が可能となるペースト肥料の展開を進めております。2022年度は、当社デモ用田植え機14台を活用しながら全国101カ所(372ha)で実証試験を行い、ペースト肥料の効果実証と認知度向上に向け取り組んでまいりました。

2023年度は、実証展示圃を更に拡大し全国104カ所で試験を実施しております。前年度に比べ農業試験場等の公的機関での試験を増やし、より信頼性の高いデータの蓄積を進めていくほか、農機メーカーとの協力体制を強化し、ペースト二段施肥技術の普及拡大に努めてまいります。

農機メーカーとも協力しながら全国で実証展示圃を設置中！



ペースト田植え機が
みどり投資促進税制※
の対象機に認定！

ペーストオンライン研修会 や ペースト施肥の実演会も全国で実施！

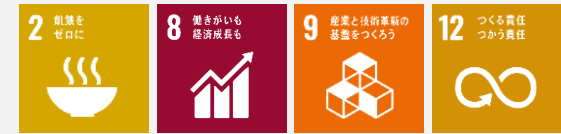


■ 実証展示圃設置予定
■ 実証展示圃(新規)設置予定



※みどりの食料システム法に基づく計画の認定を受け、一定の設備等を取得した場合に所得税・法人税に関する特別償却を適用できる制度(機械等:取得額の32%)。通常は耐用年数に応じて毎年一定の方法で減価償却を行うところ、特別償却なら設備投資の初年度に減価償却を上乗せすることができます。初年度の経費を多く計上できることから、手元に多くの資金が残せるなど資金繰りの面でメリットがあります。(みどり投資促進税制対象機の詳細は農林水産省HPをご確認ください。)

資源循環の取り組み



畜産・食品残渣堆肥

従来、堆肥は含有成分が不安定であるため化学肥料との配合が法律上認められておらず、施用する場合は堆肥と化学肥料をそれぞれを散布する必要がありました。しかし、堆肥利用拡大による土づくりの促進や施肥の省力化の観点から、肥料法における配合規制が柔軟化され、化学肥料と特殊肥料(堆肥)の配合が可能となりました。当社グループは、堆肥と化学肥料を混合しペレット化した複合肥料の開発・拡販や、乳用牛ふん尿(スラリー)の活用促進といった、堆肥活用に向けた取り組みを進めています。

堆肥が配合されたことで、土づくり効果も期待できます。



堆肥入りペレット肥料「エコマスター」

畜産堆肥 × 再生リン



堆肥と再生リンの両方を使用したe-greenシリーズも展開！

再生リン

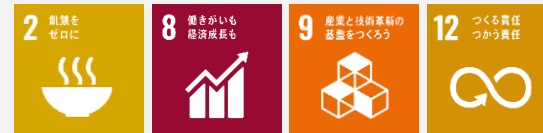
リンは肥料の3大要素の1つであり、食糧生産において不可欠な資源ですが、現在、日本ではほぼ全量を輸入に頼っています。一方、下水道にはリン鉱石として輸入されるリンの約4~5割に相当するリンが流入していると推計されています。汚水から回収できる再生リンは、安定的な供給が可能な都市資源として近年注目されており、各都市でリン酸回収施設の導入が進められています。当社グループは、再生リンを原料に利用した肥料の開発・上市を進めています。



持続可能な農業の実現に向けて、未利用資源の活用に取り組んでいます。

肥料は原料の多くを海外に依存しているため、国際市況や輸出動向の影響を強く受けやすい現状にあります。近年の肥料原料市況高騰や、国による「みどりの食料システム戦略」をうけ、国内で発生する堆肥や再生リン等の国内資源の活用に注目が集まっています。当社グループは、持続可能な農業の実現を目指し、国内資源の活用を積極的に進めております。

資源循環の取り組み



大麦発酵濾液

アルコール発酵した「もろみ」を蒸留した後に残った液体である大麦発酵濾液は、アルコール分解を経た有機物と90%以上の水分を含み、製品の約2倍の量が排出されると言われています。

当社グループは、有機物由来のアミノ酸・有機酸を含んだ大麦発酵濾液を再利用した「ソイルサプリエキス」を製造し、全国的に展開しています。また、大麦発酵濾液の供給元である三和酒類株式会社と共同で、「ソイルサプリエキス」を焼酎の原料となる大麦栽培へ利用する資源循環の取り組みも進めています。



化学農薬の使用量削減に向けた取り組み

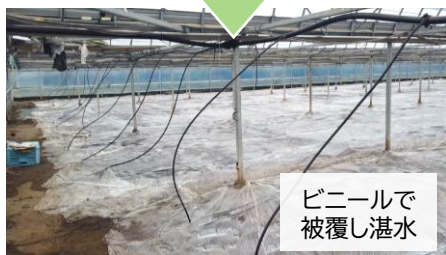
ソイルサプリエキス

×
米ぬか



派生

還元消毒の様子



2050年までに化学農薬使用量の50%を低減する国の方針を踏まえ、化学農薬を使用しない土壌還元消毒が近年注目されています。

その土壌還元消毒に使用する有機質資材として、ソイルサプリエキスを米ぬかに吸着させた「ソイルファイン」を推進しています。

ソイルファインは、アミノ酸や有機酸などを豊富に含むソイルサプリエキスを約25%含んでいるので、有機成分が速やかに土壌中に溶け出し、水と共に浸透するため米ぬか等よりも広範囲を還元化できます。さらに、ソイルファインの肥料成分により消毒後の減肥も可能です。

化学農薬使用量の低減に資する技術として、全国的な展開を進めています。

土壌還元消毒とは？

還元消毒は、有機質資材と微生物を使って土壌を強い還元状態(酸欠状態)にし、病原菌や害虫、雑草の種子を死滅させる消毒手法です。有機質資材を土壌中の微生物の餌として施用し、微生物が増殖すると土壌中の酸素が消費され、還元状態になります。

2023年度は普及員を対象としたオンライン研修会も開催し、ソイルファインを用いた土壌還元消毒技術の普及を進めています。





化学品事業

国内外フィールドへ向けた販売強化

化学品事業におけるサステナビリティへの取り組み

片倉コープアグリは「企業活動を通して社会に貢献する」という基本理念のもと、原料調達から開発、製造、販売等のバリューチェーンを見渡し、環境負荷低減等、企業の社会的責任(CSR)の遵守を通じて、サステナビリティの実現を目指しております。

化学品事業では、グローバル展開を進めるなか、顧客に対する製品品質やサービスにおいて、より高い安心や満足を保証することを目的とし、2022年10月1日、品質保証部を新設しました。現状の品質保証体制を強化し、より満足いただける製品への改善を図ってまいります。

化学品事業のサステナビリティへの取り組み

化粧品
原料

国際的なCSR評価機関Ecovadis社のサステナビリティ審査におけるブロンズメダルを継続

化粧品
原料

サステナブルな化粧品開発・生産を目的としたグローバル認証であるCOSMOS認証
(Cosmetic Organic Standard) の取得に向けて取り組みを継続

化粧品
原料

農業副産物を利用したアップサイクル原料の販売を拡大

無機
素材

食品のフードロス低減に向けたバリア材の開発・提案

無機
素材

エネルギー低減を目的とした機能性フィラー添加によるエンプラ軽量化素材の開発・提案



▶▶ サステナビリティへの取り組みを推進し、更なる海外フィールドへの展開を進めてまいります。

化学品事業における取り組み

化粧品原料事業 天然素材の力を最大限に活かした“美と健康”を追求した高機能素材を提供します。

世界各国や日本各地から選りすぐった天然素材に、多様な微生物を用いた醗酵技術や特殊抽出技術を組み合わせることにより、内面および外面美容のための付加価値を高めた素材をご提供いたします。

2022年度は、HALAL認証原料に加えて、新たにVEGAN認証も取得し多様なニーズに対応した商品を提供してまいりました。また、中国新規制への原料登録が完了したため、これらの原料を活用しながら、さらなる海外フィールドへの展開を進めてまいります。



第11回化粧品産業技術展(CITE JAPAN 2023) 出展の様子

展示会では新原料の「ネムリペア」、「ガラクトリズム」等を紹介しました。



ネムリペア

昼間にためた肌ストレスを睡眠中に解消し、翌朝には健常な肌に戻します。

ガラクトリズム

白樺の樹液を特殊な方法で醗酵させた酵母エキスです。様々な皮膚トラブルを解決するマルチな原料。



ガラクトリズム

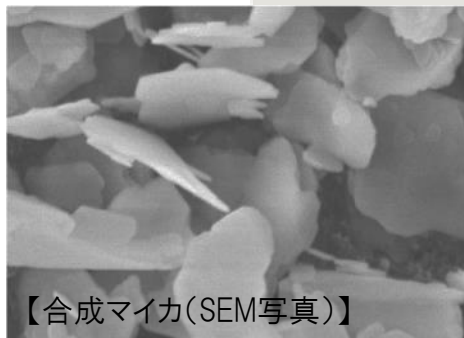
その他にも新規化粧品原料をリリースしています。

化学品事業における取り組み

無機素材事業

機能性無機素材「合成粘土鉱物」は様々な分野で社会に貢献しております。

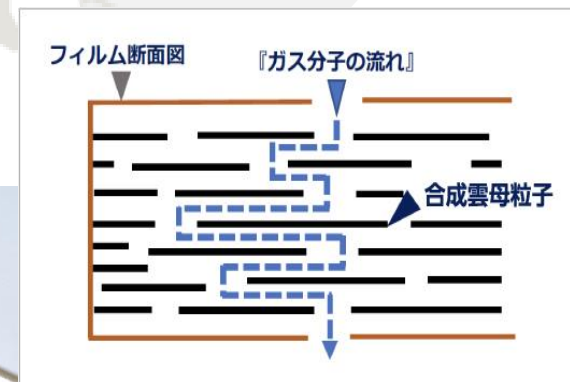
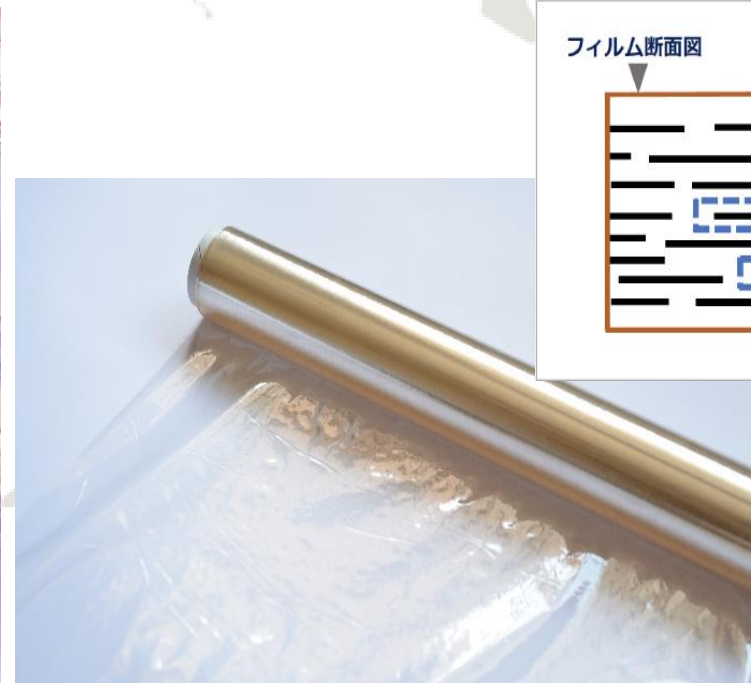
無機素材事業は、ISO9001認証を維持し、顧客要求に沿うよう『合成粘土鉱物』の製造・販売・設計開発を行っております。2022年度は、エネルギー低減を目的とした機能性フィラー添加によるエンプラ軽量化素材の開発・提案に加え、食品包装フィルム用途では2030年の欧州環境規制化に先駆け、リサイクルを見据えたバリア機能を有する合成マイカ(ソマシフ)の展開を本格化してまいりました。また化粧品用途では、欧州から離脱したUKのREACH登録を完了し海外展開の条件整備を行ってまいりました。これらの製品の拡販に努めながら、顧客ニーズに沿った機能性の創出に取り組んでまいります。



【合成マイカ(SEM写真)】



【合成マイカ】



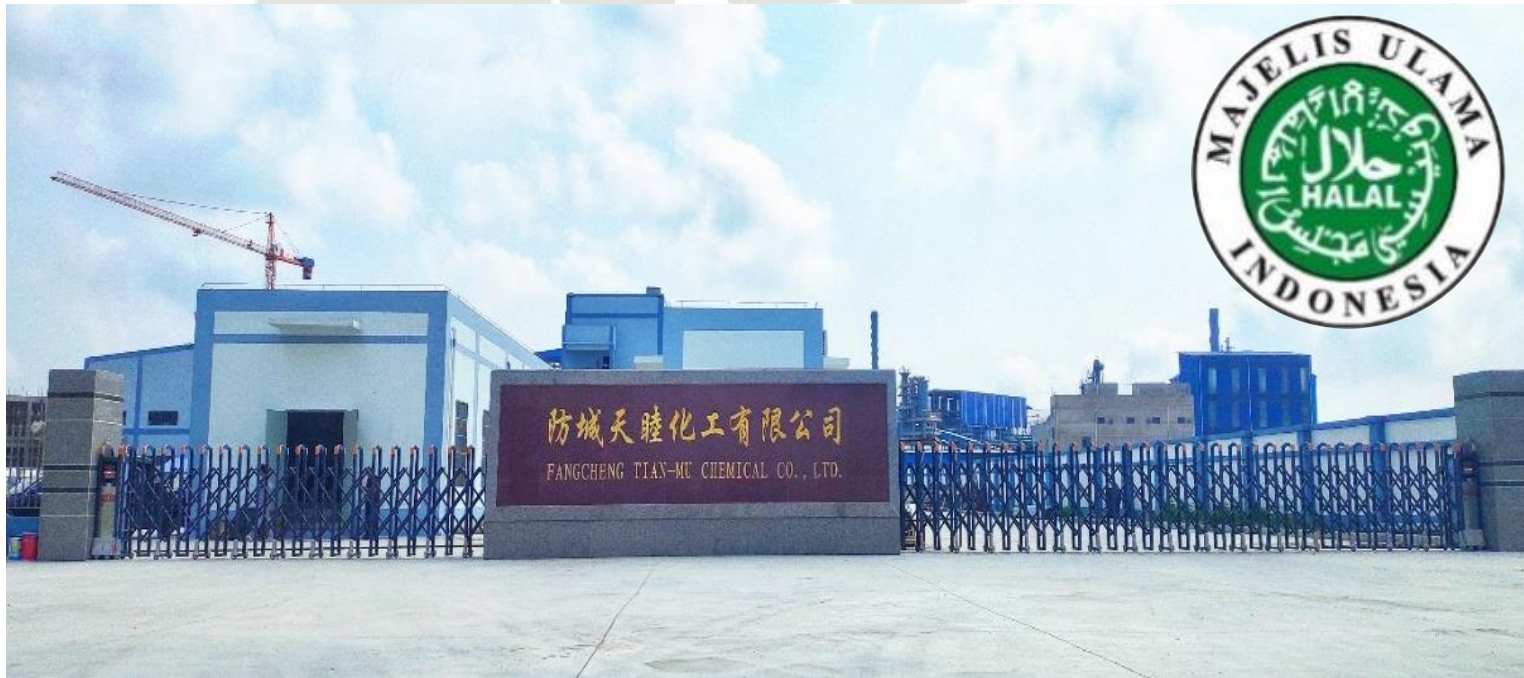
化学品事業における取り組み

化成品事業

工業用製品を中心に確かな品質と安定供給を実現しております。

当社の工業用、食添用リン酸は、中国広西壮族自治区防城港市に1993年に設立した合弁企業〈防城天睦化工有限公司〉において生産し、ケミカルタンカーで日本に輸入、国内のお客様へ販売しております。

2022年度は、リン酸において多様なニーズに応えるため、HALAL認証に加えてKOSHER認証を取得してまいりました。これらの認証を活用しながら、リン酸・硫酸等の新規顧客の開拓に取り組んでまいります。



稔り豊かな未来に貢献したい
<https://www.katakuraco-op.com>